

日中友好新聞

第73回・全国大会特集

6月8・9日の両日東京都で第73回全国大会が開催されました。

愛知県連からは木俣博(役員)と柳田常樹(代議員)が会場参加し、他の代議員、オブザーバーはズーム参加しました。

8日(土)午後は全体会議と久しぶりの大会祝賀会、9日(日)は全体会議が行われ、議案提案と各地からの活発な発言がありました。

特筆すべきは、愛知県連の「熱中(ねっちゅう・熱田・中川)支部の誕生が喜びをもって承認され、全



国に希望を与えたいとです。支部承認証と支部旗が井上久士会長から代理の柳田常樹さんに手渡されました(写真右)。

※後日の役員会での支部旗の披露(写真左上、県連事務所に)

また、県連版と緑支部ニュースが優秀な機関紙として表彰されました。

私は大会役員として初日の議長を担当し大変なプレッシャーでしたが、1日余裕を持って参加したので、葛飾柴又での半日観光を楽しみました。

木俣博

日中友好協会
愛知県連
県連版第335号
〒464-0821
名古屋市千種区
末盛通4-18
電話052-763-1152
Fax 052-763-1153
http://www.
nittyu-aichi.jp
E-mail: jc77918@
amber.plala.or.
jp
郵便口座
00890-6-25484

中国語教室の受講生を募集中です。一緒に楽しく中国語を学習しましょう。

全国大会に参加のみなさま、大変お疲れ様でした

私は今回初めて、オンラインで両日視聴しましたが、参加できてとてもよかったです。

特に相模原支部の今宮祐子さん(写真右下)の発言です。



同じ世代の方で、お子様のお年も自分の子と同じくらいの方が、こんなに熱い思いで活動されているのだと、とても衝撃を受けました。

日中友好協会役員をさせていただいている方、講演会などイベントに積極的に参加している方は、仕事や育児から手を離れた方だと思います。

大会にオブザーバー参加して考えたこと

仕事や育児が忙しい世代でも自分のペースで活動に参加出来る環境を作っていかねければ、ずっと若い世代を取り込みたいと言ってしまうと思えました。

年配の方は会員を増やす活動は、会員になってもらえるように強く訴えるというイメージを持っていて思いますが、若い世代にはまず、すぐに会員になってもらおうとせず、愛

知でその取り組みを具体的に出来る大会で発言出来るかなと思いました。

私もあることをやりますので、どうぞよろしく願います。

西尾尚子

③ 県連では2024年10月11日～17日に、中国旅行「平和と歴史の旅・広州、福建、廈門」福建省の土楼見学と広東省の歴史を学ぶ)を計画しています。

詳細は近日中にチラシでお知らせします。ぜひご検討ください。



※雲南地湧金蓮 (本文と関係ありません)

県連からのお知らせ

① 「総会のお知らせ」(お願い)

会員(準会員をのぞく)の皆様には、往復はがきで出欠の確認をお願いしています。まだの方は至急ご返送ください。また、総会にご欠席の方は、「委任状」をお願いいたします。

② 2024「あいち平和のための戦争展」が、8月15(木)～18(日)まで、名古屋市東区の「市民ギャラリー矢田」で開催されます。

今年の大テーマは「名古屋空襲」です。愛知県連は、そのような都市無差別爆撃の発端となった「重慶爆撃」をテーマに展示します。

ぜひ、ご参加ください。(今回同封のチラシを参照ください。)

県連の皆さん、回りの方々への入会のお誘いをお願いします

待ちに待った「熱中支部」の誕生!

熱中支部誕生!

〈第一部・総会〉

5月11日(土)に、した。発足会後、中から来日し、行政書八熊集会所「憩」に 国福建省から来日し、士事務所まで働いている李永燃さんも参加され、中国人の生活の中で地域差や世代間の意識のギャップ等も聞くことができました。



四川省出身の李さんの指導で作る本場の「麻婆豆腐」やハルビン出身の梁さんの妻の協力で作る「水餃子」を食べることを夢に見ながらの支部発足会でした。参加者は13名でした。(永井淑子)

〈第二部・講演〉

講演「中国人の日常生活」について 梁洵さん

名古屋大学大学院修了後に日本で仕事を続けていた梁洵さんを講師に迎え、「中国人の日常生活」について、結婚、子育て、教育、仕事、老後の場面ごとにお話

活の実際について講演してくださいました。印象的なキーワードから中国人の生活や心情が伝わってきました。

就職は内巻を

内巻とは、国家公務員、国有企業、教師等のいわゆる公務員を希望する学生が多いこと。外側と呼ばれる民間企業と公務員等の労働条件は天

と地ほど違うとか。以前に比べ公務員希望が大幅に増え、学歴も大学卒から修士取得、博士取得とどんどん厳しくなっているが、希望者は増えていて、大変狭き門。

現在の中国では、躺平な若者が急増中だとか。単純に言うとうと、平らに寝るべったままの人。でも、日本の引きこもりとは違い、完全に社会との関係を絶っている人ではなく、期待する仕事や家庭生活をあきらめ、社会への期待もなく、低欲望、低消費、低ストレスな生活を選択する若者が増えている。これは一種の悲観的逃避と言われ、海外に出る若者も多いそうです。

稲沢支部・第10回総会で「稲沢支部」を解散し、県連に移管へ

同じ号の新聞で支部の解散を告げなければならぬことはとてもつらいことです。

毎月の行事や役員会などとても原則的で、本協会のお手伝いでも本とすることも良いものでした。

とされた支部長も病を得られ、役員会で支部解散の方針を決めました。この間の努力で繰越金がありましたので、支部会員全員の会費を向こう10カ月分前納とさせていただきます。

「稲沢支部」は休眠状態になっていたので、高校教諭退職のを、高校教諭退職後、ベトナムと中国で日本語教師をしてこられた家田修さんが、帰国後、先頭になって呼びかけ会員を増やし、役員を募って設立されました。

ほぼ99%事務局長の家田さんのご努力と言っても過言ではありません。

役員代行も考えましたが、支えよう

役員代行も考えましたが、支えよう

役員代行も考えましたが、支えよう

役員代行も考えましたが、支えよう

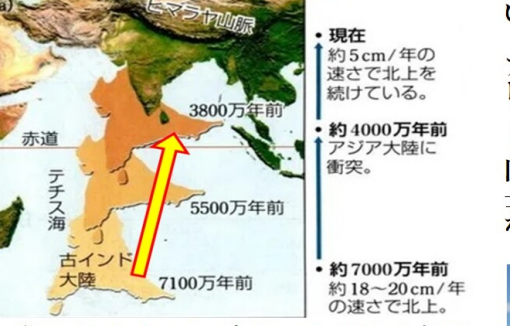
中国ものしりコーナー

46. ヒマラヤ山脈は どうやってできた

エベレストの頂上にはかつて海底に存在していました。チベットとネパールの国境にそびえるエベレストは数百万年前、インドプレートとユーラシアプレートが衝突してできた。衝突によって地質が圧縮され、現在ヒマラヤと呼ばれている全長約3400Kmの山脈が形成されました。



この山が標高8848mに到達したのは、プレートがゆっくり移動しているためです。プレートは地殻を構成する十数枚の硬い岩盤で、絶えず押し合いはし合い、プレート同士が



語は約2億年前、超大陸パンゲアの分裂と同時に始まりました。パンゲアが分裂を始めた後、インドプレートがアジアと呼ばれている陸地に向かって北上しました。インドプレートは、百年で1m以上という驚くほどの速さで移動しました。